

日本催眠医学心理学会第 61 回大会（第 1 号通信）

日本催眠医学心理学会第 61 回大会のお世話を承ることになりました。日本体育大学は、2016 年に 125 周年を迎えます。長年にわたり体育、スポーツの単科大学として多くの指導者、アスリートを輩出してきました。

第 18 回オリンピック東京大会から半世紀が経過しました。一昨年の 2013 年 9 月 7 日、第 32 回となる 2020 年のオリンピック大会が東京に決定しました。そして、これに先立つこと 2 年、2011 年に「スポーツ基本法」が成立しました。この時期に日本催眠医学心理学会第 61 回大会を日本体育大学で開催させて頂くという事は何か因縁の様なものを感じざるを得ません。

本 61 回大会では例年行われている催眠技法研修会、一般の口頭発表に加え、ポスター発表を準備したいと考えております。催眠に興味をお持ちの出来る限り多くの皆様にご参加頂けるようお願いしております。

日本催眠医学心理学会第 61 回大会長
楠本恭久

大会概要

○大会テーマ：催眠とオリンピック

○大会準備委員会

日本催眠医学心理学会第 61 回大会長	楠本恭久（日本体育大学）
大会準備委員長	齋藤雅英（日本体育大学）
大会準備副委員長	高井秀明（日本体育大学）
	園部 豊（日本体育大学）

○会期：平成 27 年 9 月 4 日（金）～6 日（日）

○会場：日本体育大学世田谷キャンパス（東京・深沢）

大会日程

第 1 日目：催眠技法研修会（初級・中級・上級）

第 2 日目：口頭発表，日本催眠医学心理学会総会，特別講演，シンポジウム，懇親会

第 3 日目：ワークショップ，口頭・ポスター発表